

コロナ禍で更に辛い思いをしているひとり親家庭アンケート 調査報告

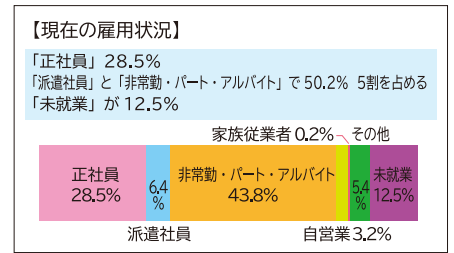
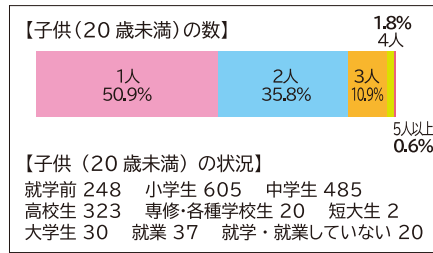
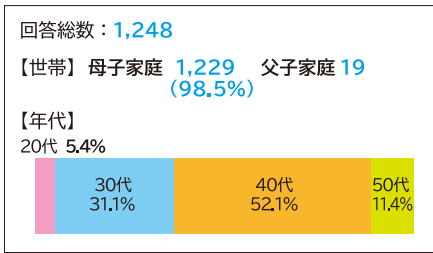
新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の災禍は、まだまだ予断を許さない状況にあります。平常時から経済面、生活面で大変なひとり親家庭においては、更に大変さが増していることと思います。

社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会は、「コロナ禍で更に辛い思いをしているひとり親家庭アンケート」を通して、コロナ禍によるひとり親家庭の生活の変化及び今後の生活の上でのお悩みやお困りごとをお聞きし、当法人が実施する社会貢献「ひとり親家庭に明るい笑顔と元気を届ける」活動に繋げていくため、更に、行政へも皆様の声をお届けして、今後の支援施策検討の方向性に役立てていただくためにアンケートを実施しました。

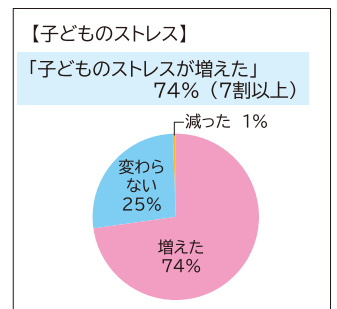
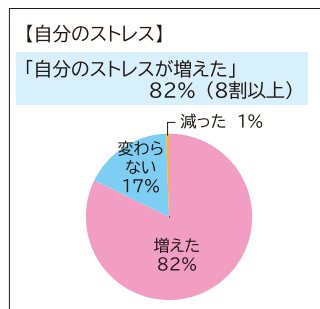
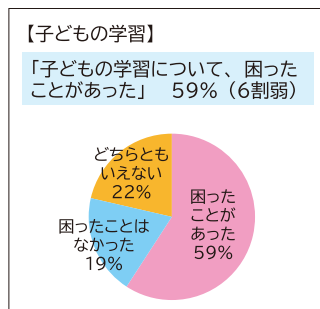
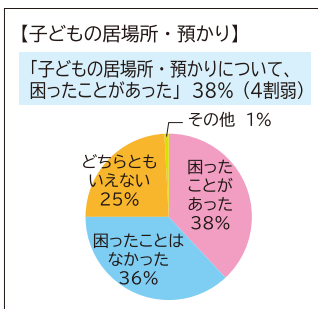
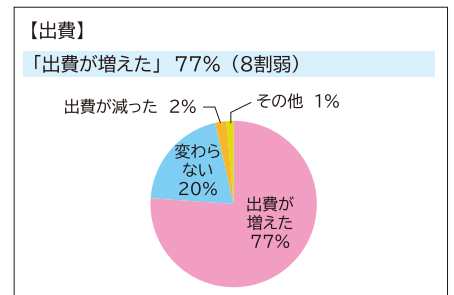
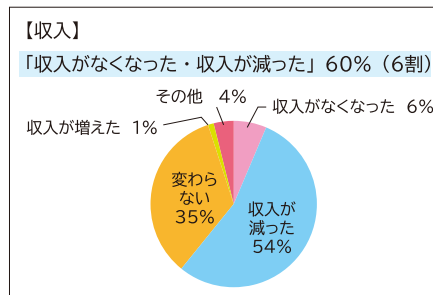
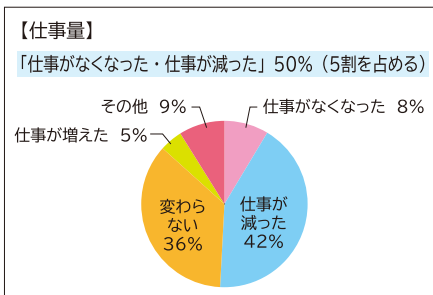
調査の概要

- 【調査対象】 県内に在住するひとり親
- 【調査方法】 オンラインまたは書面での回答
- 【調査期間】 令和3年1月8日(金)～令和3年1月28日(木)
- 【回答数】 1,248件
- 【調査項目】
 - ・新型コロナウイルス感染拡大による生活などへの影響
 - ・今後の生活における困りごと、悩みごと
 - ・コロナ禍での不安や悩み

調査の対象

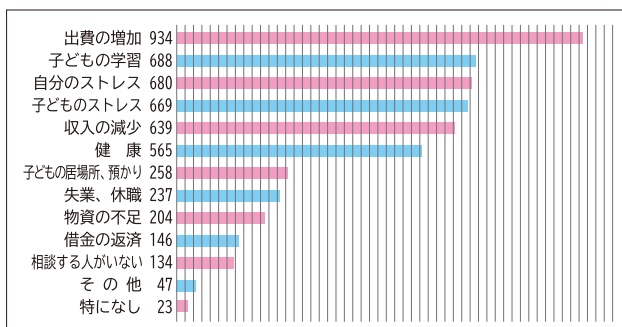


調査結果【新型コロナウイルス感染拡大による生活などへの影響】



調査結果【今後の生活における困りごと、悩みごと】

- 「出費の増加」9割以上
- 「子どもの学習」「子どものストレス」「自分のストレス」「収入の減少」が7割弱
- 「健康」が6割弱



調査結果【コロナ禍での不安や悩み】

- 「生活費」45.2%
- 「子育て・教育」16.2%
- 「新型コロナウイルス感染」38.6%
- 「新型コロナウイルスの感染」も不安であるが、「生活費」の不安や悩みの方が勝っていることが読み取れる。

